

令和 2 年度
都筑区個性ある区づくり推進費
決算状況について

令和 3 年 9 月 7 日
都 筑 区

目 次

令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について	1
令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）事業見直し及び活用について	2
令和2年度 都筑区自主企画事業説明書 自主企画事業費	
施策1 つながりと協働を育むまち	
1 まちづくり総合調整事業 重点 拡充	3
2 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充	4
3 地域支援の種（たね）事業 重点 新規	6
4 区役所改善推進事業 拡充	7
5 自治会・町内会支援事業 拡充	8
6 広報・広聴事業 拡充	9
7 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業）	10
8 地域de育む青少年事業	12
施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち	
9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	14
10 つづき健康づくりサポート事業（都筑区健康アクション!） 重点 拡充	17
11 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	19
12 地域で支える高齢者支援事業	21
13 障害者交流啓発事業	22
施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	23
15 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	24
16 文化活動支援・スポーツ振興事業	25
17 街のにぎわいづくり事業	26
18 都筑 国際交流プログラム	27
19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	28
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	29
21 安全・安心なまちづくり事業	31
22 危機管理対策推進事業	32
23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	34
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 ハマロード・林-ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	36
25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	38
26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	40

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規は**新規**、と表記しています。

令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	増△減
1 自主企画事業費	101,026,000	100,356,688	669,312
2 統合事務事業費	41,261,000	38,131,293	3,129,707
(1) 統合事務費	22,421,000	20,188,338	2,232,662
(2) 統合事業費	18,840,000	17,942,955	897,045
3 区庁舎・区民利用施設管理費	639,534,000	643,094,477	△ 3,560,477
合 計	781,821,000	781,582,458	238,542

＜内訳＞

1 自主企画事業費

施策の柱	予算額	決算額	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	33,203,000	36,734,787	△ 3,531,787
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,323,000	14,713,494	2,609,506
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	16,429,000	10,233,232	6,195,768
(4) 安全・安心なまち	24,725,000	32,537,819	△ 7,812,819
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	9,346,000	6,137,356	3,208,644
合 計	101,026,000	100,356,688	669,312

2 (2) 統合事業費

区 分	予算額	決算額	増△減
広報よこはま発行事業	10,240,000	10,097,562	142,438
市民相談事業	1,451,000	1,379,385	71,615
クリーンタウン横浜事業	1,552,000	1,402,832	149,168
消費生活推進員活動事業	448,000	410,032	37,968
緊急時情報システム運用事業	440,000	409,204	30,796
スポーツ推進委員支援費	1,309,000	1,265,000	44,000
青少年指導員事業	1,880,000	1,794,892	85,108
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520,000	1,184,048	335,952
合 計	18,840,000	17,942,955	897,045

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	予算額	決算額	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	231,178,000	236,962,608	△ 5,784,608
区版市民活動支援センター	931,000	891,654	39,346
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,920,000	5,794,182	125,818
地区センター等管理費	147,563,000	147,143,000	420,000
ログハウス管理費	7,833,000	7,833,000	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,820,000	34,218,681	△ 398,681
老人福祉センター等管理費	106,044,000	106,042,135	1,865
コミュニティハウス管理費	51,692,000	51,692,000	0
区スポーツセンター管理費	39,549,000	39,549,000	0
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	7,022,000	7,022,000	0
その他（広場・遊び場）	482,000	626,717	△ 144,717
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	5,319,500	2,180,500
合 計	639,534,000	643,094,477	△ 3,560,477

令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 (自主企画事業費) 事業見直し及び活用について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、都筑区個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）の全事業を対象に見直しを行いました。

見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式に即した事業展開を実施しました。

(単位：千円)

自主企画事業費総額	101,026
事業見直し結果	▲ 17,804
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	14,577

■事業見直し結果	▲ 17,804
(主な見直し内容)	
1 まちづくり総合調整事業 (区民文化センター(仮称)機運醸成イベントの開催中止)	▲ 884
4 区役所改善推進事業 (一時託児の利用休止等)	▲ 3,235
14 メイドインつづき推進事業 (テクニカルショウヨコハマの開催方式の変更)	▲ 1,873
17 街のにぎわいづくり事業 (都筑区民まつりの中止)	▲ 4,394

■新型コロナウイルス感染症対策等への活用	14,577
1. 感染症防止対策物品の購入に係る費用	12,445
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災拠点等避難所における感染症対策物品(間仕切り、非接触型温度計、消毒液等)の配備 ・ 区庁舎内感染症予防対策(アクリルパーテーション等)、事業実施に伴う感染症防止対策物品の購入 	
2. コロナ禍における事業展開に係る費用	1,371
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会等の手法変更、代替実施 	
3. 新型コロナウイルス感染症対策関連情報の広報に係る費用	760
<ul style="list-style-type: none"> ・ タウン誌への各種支援策の案内記事掲載費用 ・ 感染症予防啓発マグネット(車両貼付)作成 	
※ 事業ごとに執行した新型コロナウイルス感染症対策等への経費を集計しています	

令和2年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

1 まちづくり総合調整事業 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	499 万 5 千円	300 万 2 千円	199 万 3 千円
<p>1 企画調整・情報収集提供</p> <p>(1) 東京都市大学との連携 地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）等を行いました。（10月5日）</p> <p>(2) その他企業との連携 区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行いました。 開催実績：4講座（中学校4講座）</p> <p>2 まちの課題解決 横浜市生活交通バス路線（318系統）の利用啓発チラシを自治会町内会に回覧するなど、利用促進PRの取組を進めました。</p> <p>3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業 都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、施設等の利用に関連したアイデアミーティングの実施を予定していましたが、整備進捗の遅れにより見送りました。</p> <p>4 地域まちづくり推進</p> <p>(1) 地域主体のまちづくりの推進 地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行いました。</p> <p>(2) 都筑区民文化センター（仮称）整備に関連したまちづくりに関する取組 都筑区民文化センター（仮称）整備予定地周辺の交通量に関する調査を実施しました。</p>			
主な増減	都筑区民文化センター（仮称）機運醸成イベントの開催を中止したことによる委託料の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> 東京都市大学との連携事業のうち、地域連携調査研究発表会及び都市大留学生カフェの開催を中止 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成イベントの開催を中止 		

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		584万2千円	559万9千円

1 第4期計画策定

人のつながりを実感し安心して暮らせる地域づくりを目指し、区民、事業者、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期都筑区地域福祉保健計画（計画期間令和3～7年度）を策定しました。

2 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期計画の推進や第4期計画策定に向けた、学識経験者や区民による意見交換の場としました。

- ・3回（6月11日、9月24日、12月17日）

3 地域懇談会の開催

第3期計画推進や第4期計画策定に向けて地域での課題共有・解決を促進するため、連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアにおいて感染予防に努めた形で地域懇談会を開催しました。地域懇談会を開催しなかった地域については、回覧板を活用したアンケートや各種団体代表者等で構成される推進委員会等の場で意見をまとめ、地区別計画策定を行いました。

- ・地域懇談会：6地区（かちだ、新栄早淵、都田、佐江戸加賀原、茅ヶ崎南 MGCRS 及びふれあいの丘地区）、参加者数 203人

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について検討を進めました。

5 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行いました。

- ・令和2年度「つづき あい基金」助成団体：9団体

6 地域福祉保健計画推進体制強化事業

第4期計画策定に向けて、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施しました。

- ・地域アセスメント研修：12月5日 かけはし都筑（22名）

7 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助としました。

- ・「つづき あい通信」：7月発行、8,000部 3月発行、8,000部

8 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あい」パネル展を開催しました。なお、「つづき あいフォーラム」は令和3年5月に延期しました。

- ・パネル展：令和3年2月18日～24日 区民ホール

主な増減	「つづき あい基金」助成金の申請団体数の減による都筑区社会福祉協議会への補助金交付額の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	令和3年2月20日に予定していた「つづき あいフォーラム」については、規模を縮小し、令和3年5月23日に延期

3 地域支援の種（たね）事業 重点 新規	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		101万8千円	24万8千円
<p>1 地区カレンダーの発行 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの地域のイベントが中止となっていることから地区カレンダーの発行を中止しました。</p> <p>2 グループウェアの導入支援 市内企業との連携により地区連合自治会が利用できるグループウェアの導入支援の利用募集を行い、お問合せいただいた地区もありましたが、申込には至りませんでした。</p> <p>3 地域の諸課題に応じた支援 災害時の避難体制や区内在住の外国人支援など、個別の地域課題の解決につながるような支援を柔軟に展開し、地域支援の強化につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災体験プログラムマニュアルBOOK」の配付（7月、対象：15地区連合自治会） ・区内在住ドイツ人に向けた、イベントや魅力資源を紹介したドイツ語リーフレットの発行（9月、1,000部発行） 			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・グループウェア導入支援に係る実施手法の変更に伴う残 ・ドイツ語表記リーフレットのデザイン・翻訳見積合わせ残 		

4 区役所改善推進事業 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		1,168万3千円	2,023万2千円
<p>1 区役所改善推進事業</p> <p>(1) 窓口サービス等の改善を、改革推進委員会等で検討のうえ、問い合わせ対応に各課の業務をキーワードから逆引きできるリストの更新などを実施しました。(6月～3月)</p> <p>(2) 人権啓発講演会について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区民向けの講演会を中止し、区役所職員向けに動画配信による人権啓発研修を実施しました。(3月)</p> <p>(3) 来庁者の方が利用しやすい窓口サービスの実現のため、音声翻訳機及び会話の内容が第三者に漏れることを防ぐ音響発生装置を試行的に導入しました。(6月、7月)</p> <p>2 区庁舎等環境改善</p> <p>区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行いました。</p> <p>戸籍課・保険年金課待合スペース照明のLED化を行いました。(7月)</p> <p>コロナ対策として消毒用アルコールの購入、設置を行いました。(5月～3月)</p> <p>3 税理士等派遣事業</p> <p>確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る作成支援と受付を区民に身近な区役所で行いました。</p> <p>4 来庁者サービスアップ事業</p> <p>窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置しました。(配置時間：8時45分～17時)</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時託児は中止しました。</p>			
主な増減	区庁舎等環境改善について、新型コロナウイルス感染症対策としてアルコール等を購入したことによる消耗品費の増		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	区庁舎等環境改善について、新型コロナウイルス感染症対策としてアルコール等を購入		

5 自治会・町内会支援事業 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		401万6千円	263万円
<p>1 自治会町内会長感謝会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自治会町内会長感謝会を縮小開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表しました。 (3月17日、都筑区役所6階大会議室、被表彰者数16人、参加者数32人)</p> <p>2 自治会町内会への情報提供 都筑区連合町内会自治会(以降、区連会)定例会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送しました。 4月、5月、1月、2月、3月の区連会は新型コロナウイルスの影響で書面による情報提供をしました。 3月に開設された区連会のホームページにおいて、定例会資料を掲載しました。</p> <p>3 自治会町内会加入促進 地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布 ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架 ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布 ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ ・連合町内会自治会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を配布 			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会長感謝会の縮小開催による残 ・区連会資料配送委託の入札残 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会長感謝会の縮小開催 ・4月、5月、1月、2月、3月区連会の書面による情報提供 		

6 広報・広聴事業 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		195 万 5 千円	195 万 1 千円
<p>1 ガイドブック発行事業 転入者向けに隔年で発行し配布していた「Garden×都筑区役所」の内容及び配布対象を見直し、新たに区民向けの「都筑区ハンドブック」を発行しました。（3月、13,000部）</p> <p>2 PRボックスの活用 毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行いました。</p> <p>3 インターネット広報 区ホームページにおけるオープンデータの提供及び新型コロナウイルス感染症に関する情報の広報や、若年層に向けたツイッター等での情報発信を行いました。</p> <p>4 広報研修の実施 効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、各事業の広報に携わる職員を対象に広報研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、集合型の研修に代えて広報紙面づくり等に役立つ研修資料を配信しました。（11月から12月までに3回配信）</p> <p>5 主要事業説明等周知、地域における意見交換会 様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区政に反映させました。</p> <p>(1) 主要事業説明等周知 主要事業に関する周知を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報よこはま都筑区版6月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業等説明会：5月24日～7月28日、15地区連合自治会町内会 ・パネル展示：6月23日～29日、区民ホール <p>(2) 地域における意見交換会 地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつどい（2回、書面・オンライン開催）：住民相互の話し合いや行政との意見交換会 ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会 5月：つづきジュニア編集局（オンラインで開催） 			
新型コロナウイルス感染症対策による影響	広報研修について集合型の研修を中止、地域における意見交換会等について中止及び実施方法の変更		

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	284 万 4 千円	258 万 3 千円	26 万 1 千円

1 はじめる (個人支援)

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的としてオンラインを活用した講座を開催しました。(7月～12月、全6回)

(2) ボランティアベース都筑

ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催しました。(10月～3月、全6回)
(4～9月まで休止)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目的に、オンラインを活用して女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催しました。(10月・11月・3月)

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行しました。市民ライターが一部原稿を執筆しました。(新型コロナウイルス感染症の影響により年4回発行を3回に変更。8月、1月、3月)

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。(5月・7月・9月・12月・2月中止)

2 ささえる (活動支援)

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付しました。(5団体)

(2) 縁ジンミーティング

オンラインを活用して市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催しました。(8月・10月・3月)

(3) 区民活動センター利用促進事業

オンライン講座の環境整備を実施しました。(7月)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図りました。(3月)

3 つながる (連携、交流)

(1) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めました。(7月、21施設、31人)

<p>(2) つづき ^{ひと} 交流フェスタ 区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施しました。(3月)</p>	
<p>主な増減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民活動補助金申請団体が想定を下回ったことによる減 ・ 区民活動センター利用促進事業のオンライン環境整備による増
<p>新型コロナウイルス感染症対策による影響</p>	<p>一部の講座をオンライン形式で実施</p>

8 地域 de 育む青少年事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	85 万円	48 万 8 千円	36 万 2 千円

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催しました。

- ※6月の講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 2月の講座についてはウェブ会議システム開催

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場を提供しました。(申込者数 129 人、体験先 9 プログラム)

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施しました。小学校 5・6 年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供しました。(申込者数 31 人、体験先 8 プログラム)

(1) (2) 共通のスケジュール

- ・オリエンテーション：7月17日～24日、全8回、都筑区役所6階大会議室、日々輝学園
- ・ボランティア体験：7月25日～8月15日、区内各所(区内町内会、ボランティア団体、区民利用施設等)
- ・振り返り・修了証授与：8月15日～27日、都筑区役所6階大会議室、日々輝学園

※屋外での活動が中心の体験プログラムとし、規模を縮小して実施

《過年度の活動の様子》



3 つづきウォーク&フェスタ

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、代わりに区民ホールを使った展示を中心とした青少年の文化活動の発表の場の提供等を実施しました。

実施期間：11月19日～25日

主な増減	つづきウォーク&フェスタ中止による減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・青少年支援者育成講座（6月）の中止・はあと de ボランティアの縮小開催・つづきウォーク&フェスタの中止

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		922 万 9 千円	942 万 7 千円

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日開催の両親教室を、区役所会場と地域子育て支援拠点 P o p o l a（以下ポポラ）、ポポラサテライトで実施しました。

- ・区役所会場：全4回、参加者数延べ98組、うち1回オンライン
- ・ポポラ会場：全4回、参加者数延べ32組
- ・ポポラサテライト会場：全2回、参加者数延べ16組、うち1回オンライン

また、「マタニティさんの赤ちゃんとの生活プチ体験」をポポラで実施しました。

都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」に印刷し、全妊婦に配布しました。

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室を区内14会場で開催し、仲間づくりや育児相談をしました。なお、参加対象を第2子以降の0歳児にも広げました。

- ・69回、参加者数延べ1,710人

3 外遊び広め隊事業

乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」をオンラインで開催しました。なお、地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するために、地域で外遊びを実施している団体等を対象に実施を予定していた情報交換会（外遊び連絡会）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

- ・外遊び体験会：2月5日、参加者数親子7組

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修（子育てネットワーク会議）を実施し、区内で活動している子育て支援関係者・関係団体の関係づくり、知識技術の向上、課題共有や解決を図りました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）は中止しました。

- ・子育てネットワーク会議：9月4日、参加者数22人

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える保護者に対して、心理士が育児に対する悩みなどへ助言を行いました。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催しました。

- ・7月20日、参加者数32人、12月4日、参加者数28人

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を実施しました。(延べ410件)

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施しました。

- ・池辺町連合自治会館：参加児童数延べ40人、計37回(4月から6月第2週まで中止)

8 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の紙面による情報交換の場を設けました。

- ・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～
(動画配信期間：9月18日～10月18日)

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の市立小学校(21校)で実施しました。あわせて講義内容をまとめた冊子を作成し、全校へ配布しました。(9月～3月)

10 赤ちゃんふれあい体験事業

乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校(8校)の生徒を対象に実施予定でしたが、中学校の夏季休業の短縮及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

11 区民による子育てマップの作成(つづきチルコロMAP)

子育て中の区民がもつ外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ(つづきチルコロMAP)をポポラと協働して更新し、発行しました。(3月、12,000部)

主な増減	両親教室開催数の増加に伴う事業費の増
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両親教室の開催方法の変更及び回数が増 ・ 0歳児地域育児教室の休止（4～6月、2～3月）。ただし、8月及び1月は当初から休会 ・ 外遊び連絡会（1月）の中止 ・ 子育てネットワーク交流会（11月）の中止 ・ 地域が支える子ども達の居場所づくり事業の実施回数の減 ・ 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業の実施手法の見直し ・ 赤ちゃんふれあい体験事業の中止

10 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		267万9千円	160万3千円

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨しました。

なお、区民の運動習慣の定着を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象とした講座を10月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月1日～7日、区民ホール
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回
(乳幼児健診中止にともない7月から再開)(個別指導17回・触診体験143人)
- ・ピンクリボンデー(10月1日)女性の健康週間(3月1日～8日)における乳がん・生活習慣病予防啓発のパネル展示、2階フロア

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代にとって大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指し実施しました。

なお、6月27日に開催を予定していた「食育・健康フェア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

- ・子育て支援事業会場における乳幼児向け食事相談：
区内10か所(20回・126人)＋区役所(4回・42人)
- ・食育情報交換会：年2回(第1回 7月10日 34施設
第2回 12月11日 37施設・食生活等改善推進員)

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員に対して健康チェック機器研修(9月・1地区)を実施し、健康チェック機器の貸出を行うなど活動支援を行いました。なお、保健活動推進員と食生活等改善推進員の合同の研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

4 都筑区健康アクション事業

健康へ関心を持ってもらうきっかけとして、日頃、運動習慣が無い方でも気軽に実践できる、区民を対象とした健康体操イベントを実施しました。

- ・健康体操イベント：年2回(ほいくえん広場 11月12日(大人25人、子ども34人)
11月17日(大人42人、子ども43人))

5 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成 29 年度から保険年金課待合スペースなどにおいて取り組んでいるストレッチ映像等の放映を引き続き実施しました。

また、健康づくり文庫は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から休止しています。

主な増減	・ 抹消血管測定装置（血管年齢測定器）製造中止による減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	・ 食育・健康フェア・つづけるウォーキング講座・おいしいおはなしの会（1回）の中止 ・ 区民まつり・つづきウォーク&フェスタ中止に伴う啓発事業中止 ・ 保健活動推進員・食生活等改善推進員合同研修中止 ・ 健康づくり文庫の休止

11 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		343 万 5 千円	275 万 1 千円
<p>1 おひさま広場（園庭開放）</p> <p>市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・827 回実施、利用者数延べ 9,607 人、保育協力者数延べ 899 人 （4 月 1 日～7 月 14 日は休止） 			
<p>2 休日園庭開放</p> <p>市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 回実施、利用者数延べ 355 人、地域の協力者数延べ 29 人 （4 月～8 月（中川西）、4 月～9 月（茅ヶ崎南）は休止） 			
<p>3 給食体験事業</p> <p>地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場である給食体験事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p>			
<p>4 ほいくえん広場</p> <p>市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行いました。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aエリア（東山田周辺）：9 月 4 日 中止 （仲町台周辺）：11 月 12 日 せせらぎ公園 参加者 59 人 ・Bエリア（中川・北山田周辺）：11 月 10 日 滝ヶ谷公園 参加者 51 人 ・Cエリア（茅ヶ崎周辺）：11 月 17 日 都筑中央公園ステージ広場 参加者 51 人 ・Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10 月 12 日 都田小学校コミュニティハウス 参加者 19 人 10 月 14 日 みどり保育園園庭 参加者 41 人 			
<p>5 積木交流</p> <p>市立保育所にある合計 2 万個の積木を使い、「つみきのつづき」として、積木遊びを通じた育児支援を広めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市立保育所・民間保育所職員等が積木遊びの作品を制作する過程を撮影し、区役所内モニターでの上映や、区ホームページでの公開を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 15 日 区民ホールでワークショップ実施、11 月から動画上映・公開（継続中） 			
主な増減	おひさま広場一時休止に伴う、協力者への報償費支払いの減		

新型コロナウイルス 感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・おひさま広場、休日園庭開放の休止・給食体験事業の中止・ほいくえん広場の一部中止・積木交流の実施手法の変更
-------------------------	--

12 地域で支える高齢者支援事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		82万8千円	56万1千円
<p>1 認知症普及啓発事業</p> <p>(1) 動画で配信「認知症フォーラム」 認知症フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の講演会ではなく、「新しい生活様式の中でも、認知症になってからも暮らしやすいまちづくり」をテーマに動画と資料の配信や動画 DVD の貸出を行いました。 ・配信期間：9月18日～12月28日</p> <p>(2) 認知症サポート連絡会 地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行いました。 ・開催回数：9回（うち3回は書面開催）、3回中止。原則毎月開催。</p> <p>2 認知症人材育成事業</p> <p>認知症キャラバン・メイト交流会は、年1回開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p> <p>3 福祉保健情報提供事業</p> <p>(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営 福祉保健関連のチラシ・パンフレットを配架し、情報提供を行いました。 従来は市民ボランティアによるサポートスタッフを週2日配置し、申請書の記載支援や簡単な相談対応も併せて行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、サポートスタッフの配置を大幅に縮小しました。</p> <p>(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行 高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」を印刷し、窓口等での配布を開始しました。 ・印刷部数：2,000部 ・主な配布場所：区役所窓口、区民活動センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地区センター</p>			
主な増減	「ふくほの森」サポートスタッフの配置回数減による報償費の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	認知症フォーラムの実施方法変更 認知症キャラバン・メイト交流会の中止 「ふくほの森」サポートスタッフの配置の休止・縮小		

13 障害者交流啓発事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		115万2千円	37万1千円
<p>1 福祉農園事業 障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芋ほりイベント：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区民の参加は中止しました。収穫は、JA 青壮年部と実行委員を中心に行い、芋は障害児・者団体に配布しました。 ・～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ：障害者週間にあわせた区内事業所紹介のパネル展、障がいのある子とそご家族の写真展を開催しました。(12月5日～9日、区民ホール) <p>2 障害者地域啓発事業</p> <p>(1) 区民まつり福祉バザー 地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を予定していましたが、区民まつりの中止に伴い、中止としました。</p> <p>(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会としました。 障害者グループホームに対し、地域防災拠点訓練の日程連絡及び参加推奨を行いました。</p> <p>3 障害者施設支援事業 障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内において障害施設が自主製品の販売活動を実施しました。この活動について、区民への周知を支援しました。</p>			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉農園事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の縮小による減 ・障害者地域啓発事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区民まつり福祉バザーの中止による減 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉農園事業の事業縮小 ・障害者地域啓発事業（区民まつり福祉バザー）の中止 		

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		597 万円	501 万 3 千円

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援やオンライン展示会セミナーを行った（12月18日）ほか、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進しました。

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の開催（区役所6回、IKEA 港北4回）、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地産地消の取組を支援しました。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を動画形式で開催（2回）しました。

3 メイドインつづき推進事業PRの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行いました。

- ・こうじょうのキラキラ：7月30日～8月5日、区民ホール

ご家庭でものづくりを体験できるよう、工場から出た廃材を配布しました。（メイドインつづき企業42社を紹介するパネル展も同時開催）

また、「動画で工場見学！」として、工場内部の様子動画を作成し、区ホームページで公開しました。



主な増減	地産地消の推進における、直売所マップの更新方法の変更に伴う委託料の減 技術展示会「テクニカルショウヨコハマ」の開催方式の変更に伴う委託料の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	技術展示会「テクニカルショウヨコハマ」の開催方式の変更

15 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業	重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		91 万円	49 万 8 千円	41 万 2 千円
<p>1 区民利用施設等と連携した巡回パネル展の開催</p> <p>東京 2020 大会の機運醸成を図るため、英国やボツワナ共和国等のホストタウンや 1964 年の東京オリンピック当時の写真などを紹介するパネル展を、区民利用施設等を巡回して実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展の実施：7 月 21 日～27 日、区民ホール 10 月 1 日～7 日、区民ホール 9 月～12 月、区民利用施設 <p>2 区内商店街等と連携した東京 2020 大会関連装飾の実施</p> <p>のぼり旗や懸垂幕等の装飾を作成し、区内商店街や区民利用施設等と連携して、東京 2020 大会関連装飾を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 大会横断幕を区役所及び地区センター等区民利用施設に掲出（10 月以降） ・都筑区商店街連合会と連携して、東京 2020 大会英国代表チーム事前キャンプの合言葉“GO GB（ゴー・ジービー：がんばれ、英国）”の小旗を掲出（3 月） <p>3 パラスポーツ関連イベントの開催</p> <p>東京 2020 大会の機運醸成やパラスポーツ普及のため、パラスポーツに関する講演会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パラスポーツを通じて知る障害者と地域の共生社会の実現について」 ：3 月 6 日、オンライン（YouTube Live 配信）、視聴者数 25 名 講師 田口 亜希 氏 東京 2020 聖火リレー公式アンバサダー 				
主な増減	東京 2020 大会延期による英国水泳代表チーム歓迎イベント・パブリックビューイング中止による減			
新型コロナウイルス感染症対策による影響	東京 2020 大会の 1 年延期による事業内容の変更			

16 文化活動支援・スポーツ振興事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	206 万 9 千円	115 万 9 千円	91 万円
<p>1 都筑区民文化祭事業 「第 25 回都筑区民文化祭」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。「笑顔が輝く 未来の都筑」をキャッチフレーズとして募集したポスター画の展示を実施しました。</p> <p>2 体育協会活動補助事業 都筑区体育協会に対し補助を行うとともに、各種目別の区民大会の開催支援を行いました。</p> <p>3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業 区民の皆様のスポーツ振興と健康増進、異世代交流を図るため、ランニングアプリ等を活用したオンライン形式により、第 27 回都筑ふれあい健康マラソン大会を開催しました。 ・ 2 月 27 日～3 月 7 日、申込者数：261 組、324 人、参加人数：201 組、250 人</p> <p>4 都筑スポーツ・文化賞事業 スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高める取組を行いました。 ・ 1 月 28 日、都筑区役所 6 階大会議室、被表彰者数 3 名</p> <p>5 地域の読書活動推進事業 第 2 期「都筑区読書活動推進目標」（令和元年度改定）に基づき読書活動を推進しました。 (1) 読書活動推進に関する懇談会：9 月、3 月（オンライン併用） (2) ブックフェスタ：11 月（郷土史講演会、ワークショップ、パネル展示） (3) おでかけ図書館：10 月～3 月、区内各所（10 回） (4) 記念講演会（落語で笑って）：中止</p>			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都筑区民文化祭中止による補助金の減 ・ 都筑スポーツ・文化賞事業の実施手法の変更による負担金の減 ・ 記念講演会の中止や郷土史講演会の講師謝金の減 ・ ブックフェスタ用物品の増 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都筑区民文化祭の中止 ・ 第 27 回都筑ふれあい健康マラソン大会のオンライン形式への変更 ・ 読書活動推進に係る記念講演会の中止 		

17 街のにぎわいづくり事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	548 万円	165 万 3 千円	382 万 7 千円
<p>1 都筑区民まつり</p> <p>「第 26 回都筑区民まつり」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。また、区民まつりにぎわいを区民の皆様にお届けするため、過去の区民まつりの写真や動画等をホームページに掲載しました。</p> <p>2 商店街魅力発信事業</p> <p>都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様伝える取組を行いました。また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑区商店街魅力発信ワーキング：7 月以降、毎月開催 ・都筑区商店街紹介パネル展：7 月 16 日～22 日、区民ホール ・広報よこはま都筑区版での紹介：4 月、7 月、1 月～3 月 ・横浜ビー・コルセアーズ都筑区応援 day 内で都筑区商店街連合会の PR を実施（3 月 28 日） <p>3 都筑・ドイツ交流イベント事業</p> <p>「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2020」は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、現地での開催を中止しました。手法の変更により、専用ホームページを作成し、クリスマスマーケットをオンラインで開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 25 日～12 月 25 日 <p>Web ステージ、区内飲食店のドイツ及びクリスマス関連メニューのテイクアウト、ドイツ文化の紹介、過去のクリスマスマーケットの内容紹介等</p>			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区民まつり中止による補助金の残 ・ドイツクリスマスマーケットのオンライン化に伴う委託費の減 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区民まつりの中止 ・ドイツクリスマスマーケットの現地開催を中止し、オンラインで開催 		

18 都筑 国際交流プログラム	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	140 万円	140 万円	0 円

都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託しました。

1 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国及びアンゴラ共和国との交流事業を実施しました。

- ・多言語による情報提供や生活相談：通年
- ・国際理解教室（ボツワナ大使ビデオメッセージ等）：7月10日
- ・第7回都筑・ボツワナ交流児童画展：11月～3月
- ・茅ヶ崎小学校、在ボツワナ日本国大使館、ボツワナ共和国大使館とのオンライン交流の開催：12月7日
- ・早渕中学校からアンゴラ共和国へのマスク寄贈：3月4日

2 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供しました。

- ・外国人のための日本語教室：全81回、参加者603人
- ・多文化共生セミナーの実施：11月29日
- ・日本語ボランティアの合同研修会の実施：11月8日、11月15日、3月21日

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	60 万円	51 万 1 千円	8 万 9 千円

1 地元応援イベントの実施

地域の皆様と連携し、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図りました。

- ・区内中学校バスケットボール部3年生交流試合への参加：8月2日、東山田中学校・中川中学校体育館
- ・横浜ビー・コルセアーズ開幕初戦カウントダウンボード：8月14日～10月3日
区民ホール
- ・パネル展：9月23日～30日、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月

2 都筑区応援 day の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールの試合で、地域の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援 day を実施しました。

- ・中川中学校美術部や東京都市大学美術サークル、都筑区商店街連合会などと連携した取組を実施（3月28日）

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街の連携企画や広報を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図りました。

- ・広報よこはまの連載企画として「ビーコルが巡る都筑区の商店街」の記事を掲載するとともに、市公式 YouTube を活用して区内商店街の PR を実施（1月～3月）

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		462万3千円	284万3千円

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援しました。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月29日書面開催
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月28日（大雨により中止）
：第2回 7月5日 参加者数21人
：第3回 1月30日（緊急事態宣言により中止）

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、更新が必要な27台のうち、9台の更新を進めました。

- ・折本小学校、都田西小学校、荏田南小学校、山田小学校、北山田小学校、茅ヶ崎小学校、すみれが丘小学校、予備機2台（区役所）

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図りました。

- ・防災減災講演会 3月2日 56名
テーマ：大規模災害時の人間行動
講師：防衛大学校 准教授 加藤 健 氏
- ・出前講座：5回（自治会・町内会3、小学校1、災ボラ1） 191名
- ・自治会町内会向け研修会（防災センター見学）：2回 16名

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿の提供を行いました。さらに、連合自治会町内会に対し、補助金の交付を行うなど、地域の実情に合った支援を行いました。

- ・補助金交付地区：13 地区

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めました。

- ・鶴見川・大熊川：2月10日 10名
- ・早淵川：2月17日 13名

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発しました。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図りました。

- ・災害時にも役立つBOOK（15,000部）
地域防災拠点、乳幼児健康診査・地域ケアプラザ等で配布
緊急事態宣言により班回覧については3年度に延期
- ・消毒液の作り方シール（2,400枚）
感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）、
感染症パネル展（10月29日～11月4日）で配布

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行いました。また、災害時に想定される動物救援病院の活動に備え、獣医師会加盟病院へ、活動を広報するのぼり旗を配付しました。

- ・地域防災拠点運営委員向け研修会での説明：7月5日
- ・区民ホールでのペット防災啓発展示：9月17日～9月24日（動物愛護週間）
- ・のぼり旗の配布：17動物病院



主な増減	つづきそなえ補助金交付の残
新型コロナウイルス感染症対策による影響	防災フェア・区民まつり・ウォーク&フェスタ中止に伴う啓発事業中止

21 安全・安心なまちづくり事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		978 万 2 千円	967 万 8 千円
<p>1 交通安全運動</p> <p>都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施しました。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様を顕彰しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動：11 回 顕彰：個人 9 名、団体 6 団体 <p>また、子どもたちの安全・安心のため、都筑警察署等関係団体と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路補修：道路面「スクールゾーン」標示補修（塗り直し）24 か所、新設 7 か所 電柱巻更新 74 か所 はまっ子交通あんぜん教室：新型コロナウイルス感染症の影響で、区内小学校 7 校予定中 3 校のみ実施。 各小学校スクールゾーン・防犯対策協議会支援：補助金助成 38 千円/校×22 校 スクールゾーン防犯対策協議会の開催： 24 校(区内 22 校+区外 2 校) 中、実施 22 校（書面・縮小開催含む）、中止 2 校 <p>2 放置自転車対策事業</p> <p>自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置しました。（年間 516 回、延べ 1,032 人）</p> <p>3 地域防犯活動推進事業</p> <p>地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯研修会：8 月 20 日 参加者数：79 人 地域防犯活動助成金交付団体：106 団体 			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> 監視業務委託の入札残 通学路路面標示補修等の実績増 防犯活動助成金の交付申請の減による残 		

22 危機管理対策推進事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
	941 万円	1,911 万 2 千円	△970 万 2 千円

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いました。

- ・災害対策連絡協議会（書面開催）
- ・帰宅困難者対策部会 11月11日 16人

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行いました。

- ・地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会 10月14日 7人

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図りました。

- ・鶴見川水防訓練：6月27日、佐江戸町内会エリア
参加者：22人（都筑消防団、都筑消防署、都筑警察署、都筑区役所）
（防災関係機関による情報受伝達訓練や防災用スピーカー等による広報活動）
- ・災害医療対策訓練：3月10日、区災害対策本部運営訓練と同時開催
参加者：6人（区医師会、区薬剤師会）
（医療調整班による仮設救護所開設・運営訓練）
- ・帰宅困難者対策訓練：11月27日 市営地下鉄仲町台駅、ENEOSグループ社員研修センター
参加者：48人（帰宅困難者一時滞在施設（11施設）、東急バス、横浜市交通局、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所）

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図りました。

- ・区災害対策本部運営訓練 3月10日 57人

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図りました。

- ・防災・生活マップ：内容を更新のうえ、13,000部増刷
- ・洪水ハザードマップ：2,500部（局からの配付を受け区役所にて配架）

3 区本部体制の維持・管理

(1) 区本部運営に必要なとなる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行いました。

- ・避難所用新型コロナウイルス感染症対策物品の購入（アルコール消毒液、マスク、非接触型体温計、感染症対策キット、テント、間仕切り等）

(2) 防災用スピーカーの整備

- ・防災用スピーカー1基増設（横浜市交通局川和車両基地）：6月11日運用開始
- ・防災用スピーカーの点検（11拠点）

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用しました。

- ・受伝達訓練：6月5日 登録者数：143人（3月末時点）

主な増減	新型コロナウイルス感染症対策用物品等の購入による増
新型コロナウイルス感染症対策による影響	新型コロナウイルス感染症対策用物品等の購入

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		91 万円	90 万 4 千円

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

食品取扱施設への監視指導については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から拭取り検査を中止し、衛生管理計画や記録をもとに衛生指導を行いました。

- ・衛生指導施設数：6月～2月、小学校・社会福祉給食施設 32か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信しました。イベントや講座では、手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により正しい手の洗い方を周知しました。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーの配布により、ノロウイルス食中毒予防についても周知しました。

- ・食中毒予防パネル展：8月～12月、5回、区役所2階PRスペース・区民ホール
- ・出前講座：8月～11月、5回、参加者数45人、食生活等改善推進員・配食ボランティア

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施しました。

- ・猫侵入防止器の貸出：13件
- ・ねずみ捕獲器の貸出：3件
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：17件

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、理美容施設に対する拭取り検査を中止し、大規模商業施設、理美容所、クリーニング所等に感染防止対策のガイドラインや換気方法のチラシを配布しました。

- ・チラシ配布：559施設

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、ペットの適正な飼育などに関する啓発を実施しました。

- ・動物愛護週間イベント：9月17日～24日、区民ホール（表彰式は中止）

新型コロナウイルス 感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・施設監視指導の縮小（4月～3月）・イベント、出前講座等における啓発事業の中止及び縮小（4月～3月）
-------------------------	---

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 重点 拡充 公園・緑道愛護会等活動推進事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		465万9千円	344万2千円

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（45団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供しました。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするためのパネル展示を行いました。新型コロナウイルス感染症の状況により、道の日イベント・交流会は中止しました。

- ・パネル展示：8月27日～30日、区民ホール、展示団体数15団体

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152団体）及び水辺愛護会（3団体）の幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展示やPR活動を実施しました。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園のほ場で愛護会向けの花苗を生産し、提供しました。

- ・パネル展示：8月27日～30日、区民ホール、展示団体数15団体

3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行いました。

また、支援ニーズに応えたり、担い手を増やすための効果的な施策を実現したりするにあたっての助言を外部から得ました。

・技術講座

第1回：9月1日 東方公園での花壇講座（参加人数：10人）

第2回：3月23日 東方公園での花壇講座（参加人数：14人）

講師：佐々木 知幸 氏（造園家、ネイチャーガイド、樹木医）

4 都筑^{りょくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催しました。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法の普及を支援しています。

・令和2年度ナチュラルガーデン講座の実施状況

回	開催日	参加人数	場所	内容
1	6月30日	20人	都筑土木事務所	昨年度の振り返り
2	7月28日	22人	東方公園	維持管理のポイントについて
3	10月30日	15人	東方公園	デザインする花壇に関しての意見交換
4	10月30日	12人	都筑地区センター	グループ別で植栽デザインワーク
5	11月24日	17人	東方公園	地拵えから植栽までの実習作業
6	2月16日	14人	東方公園ほか	維持管理を実践して習得

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードと、活動に必要な道具や清掃用品を提供しました。

事業の案内は、土木事務所のホームページにも掲載しています。



活発な愛護会活動により花の名所として
親しまれている江川せせらぎ緑道

主な増減	コロナウイルス感染拡大の影響によりハマロード・サポーター、公園愛護会活動の減少による消耗品費の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	道の日イベントの中止、愛護会総会中止、活動ステップアップ相談事業の講座回数の減少

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		212 万 2 千円	162 万 5 千円

1 SDGs 環境フェア

SDGs の様々なゴールにつながっているプラスチック問題の解決に向けたきっかけづくりや、家庭で取り組む 3 R 行動の紹介、子どもたちに環境問題を身近に考えてもらうための環境パフォーマンスやワークショップの開催などを行いました。

- ・パネル展：10 月 22 日～27 日
- ・東京農工大学 高田教授による講演会、らんま先生による環境パフォーマンス、体験型ワークショップ：10 月 24 日

※当初、別日程で予定していた「親子向け環境アドベンチャー」の内容を当イベントに盛り込み、SDGs 環境フェアと合同で開催しました。

2 温暖化対策推進事業

(1) 緑のカーテン事業

区庁舎に設置されている緑のカーテンを維持管理し、区内小中学校（10 校）及び区内公共施設（地域ケアプラザ及びコミュニティハウス）への緑のカーテン設置を支援しました。

(2) つづきエコ活啓発事業

区民の皆様に、身近な温暖化対策の取組を P R し、普及啓発に取り組みました。

3 クリーン・ヨコハマ 3 R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のゴミ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行いました。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：44 団体

(2) ヨコハマ 3 R 夢推進事業

3 R 行動推進のため、つづき 3 R 夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集を行いました。

- ・つづき 3 R 夢週間パネル展等：7 月 24 日～28 日（第 1 回）10 月 22 日～27 日（第 2 回）

（ごみと資源の相談コーナー設置 7 月 25 日：130 人、10 月 24 日：150 人）

- ・フードドライブの実施：10 月 22 日～27 日：207 点
- ・赤ちゃん会での 3 R 夢啓発：9 月～3 月、11 会場
- ・リユース図書の回収：3 月 28 日：1,903 冊

4 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R夢行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議を行いました。

・表彰：6月26日（被表彰者数：4団体、8個人）

主な増減

啓発物品等の在庫活用による消耗品費の減

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R2 予算額	R2 決算額	増△減
		256 万 5 千円	107 万円
<p>1 みどりアップ推進</p> <p>(1) みどりアップ計画および市民の森PR事業 区の魅力資源の一つである市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みました。 ・パネル展の実施：8月6日～12日</p> <p>(2) 都筑区花いっぱい運動の推進</p> <p>ア 花と緑の親しみづくりイベントの開催 区制25周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所25選」の一部を巡るウォーキングイベントを開催することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会としました。（4回計画、1回実施・3回中止） ・6月21日実施（31人参加）</p> <p>イ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理 地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みました。</p> <p>2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用</p> <p>「都筑区水と緑の散策マップ」については地図情報等の更新（令和元年度に実施）したものを増刷し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信しました。また、マップの次回の更新に向けた情報収集を行いました。</p>			
主な増減	「都筑区水と緑の散策マップ」の販売見込部数の精査による印刷製本費の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	ウォーキングイベントの中止（4回計画、3回中止）		



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン

令和 3 年度
都筑区自主企画事業の
執行状況について

令和 3 年 9 月 7 日

都 筑 区

目 次

令和3年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 地域支援の種（たね）事業 重点 拡充 | 1 |
| 2 | 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充 | 2 |
| 3 | 区役所改善推進事業 拡充 | 4 |
| 4 | 自治会・町内会支援事業 拡充 | 5 |
| 5 | 広報・広聴事業 拡充 | 6 |
| 6 | まちづくり総合調整事業 | 8 |
| 7 | つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） | 9 |
| 8 | 地域de育む青少年事業 | 11 |

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

- | | | |
|----|--|----|
| 9 | 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充 | 13 |
| 10 | 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 | 15 |
| 11 | つづき健康づくりサポート事業（都筑区健康アクション!） 拡充 | 16 |
| 12 | 地域で支える高齢者支援事業 | 18 |
| 13 | 障害者交流啓発事業 | 19 |

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

- | | | |
|----|----------------------------------|----|
| 14 | メイドインつづき推進事業 重点 拡充 | 20 |
| 15 | 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充 | 21 |
| 16 | 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 | 22 |
| 17 | 文化活動支援・スポーツ振興事業 | 24 |
| 18 | 都筑 国際交流プログラム 拡充 | 25 |
| 19 | 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 | 26 |

施策4 安全・安心なまち

- | | | |
|----|---------------------------------------|----|
| 20 | 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充 | 27 |
| 21 | 危機管理対策推進事業 重点 拡充 | 29 |
| 22 | 安全・安心なまちづくり事業 | 31 |
| 23 | 食と暮らしの安全推進事業 拡充 | 32 |

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

- | | | |
|----|--|----|
| 24 | ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業 重点 拡充 | 34 |
| 25 | 環境にやさしいまち推進事業 拡充 | 36 |
| 26 | つづき水と緑の魅力アップ推進事業 | 37 |

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、と表記しています。

令和3年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

※ 第2回市議会議員会議資料より更新がある項目については下線が引いてあります。

施策1 つながりと協働を育むまち

	R3 予算額	R2 予算額	増△減
1 地域支援の種（たね）事業 重点 拡充	119万1千円	101万8千円	17万3千円

地域社会は自治会町内会を中心に、地区社会福祉協議会や学校、NPO法人など、多種多様な関係者によりその運営が担われており、区役所も平成23年度から開始した地区担当制を通じ、地域社会との顔の見える関係を築いてきました。

地域社会が抱える個別課題の解決を支援するため、地域支援の種（たね）を蒔き、地域運営の総合力を高めます。

1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業

地域支援の種（たね）事業を“人”を通じた支援の方策へとステップアップさせ、より地域に寄り添った支援を展開していきます。地区連合自治会等を対象に、個々の地域課題に対応したアドバイスを担う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を各地区に派遣し、地域運営の総合力の向上につなげます。（6月募集開始、1地区あたり上限3回、延べ6回）

- ・ 地区連合町内会自治会、単位自治会町内会を対象に募集開始（6月、対象138団体）
- ・ 4地区延べ9回の申込受付

（派遣内容調整中：2地区、派遣決定：2地区（うち、1地区は8月28日に第1回派遣実施済み）

2 NPO法人情報誌の発行

区内のNPO法人と、そのキーパーソンや日ごろの活動の様子などを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促します。（6月、10月、2月発行、各号8,000部）

- ・ 情報誌「tsuzuki ANCHOR」第1号発行（6月、8,000部）

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	373万7千円	584万2千円	△210万5千円

2年度に策定した第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 地域懇談会の開催

第4期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

・地域懇談会：2地区（新栄早渕地区、茅ヶ崎南 MGCRS 地区）、参加者 53人

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。

(2) 庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

・職員向け研修：4月19日、23日、26日、28日、63名参加

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

・3年度「つづき あい基金」助成団体：6団体

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について検討を進めます。

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。

・「つづき あい通信」：2月発行

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第4期地域福祉保健計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民による意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

・第1回 9月2日（書面開催）

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・つづき あいフォーラム：2月19日、都筑公会堂
- ・パネル展：5月20日～5月26日、区民ホール
2月17日～2月22日、区民ホール

8 横浜市都田地区センター及び横浜市都田地域ケアプラザ開所準備

横浜市都田地区センター及び横浜市都田地域ケアプラザの開所に向けた準備をします。

- ・第2回横浜市都田地域ケアプラザ及び横浜市都田地区センター指定管理者選定委員会
：4月16日

3 区役所改善推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		1,205 万 7 千円	1,168 万 3 千円

区民満足度の向上のため、来庁者の方が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討し、実施します。
- (2) 人権意識の向上を目的とした人権啓発講演会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン動画配信により実施します。(1月～2月)
- (3) Web会議を目的とした区役所内ICT環境の整備
民間企業など外部の組織・個人と円滑にWeb会議を実施できるよう、モバイルルーター等を調達しました。(7月～8月)

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。
また、庁舎2階の環境整備を引き続き行います。

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、区民に身近な区役所において、専門知識を持つ税理士等の協力を得て確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援・受付を行います。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。

4 自治会・町内会支援事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		379万7千円	401万6千円

自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

2 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）定例会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

3 自治会町内会加入促進

地域の つながりづくり のため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・加入促進のためのトートバッグの作成
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会活動を紹介する冊子を発行（10月）

5 広報・広聴事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	229 万 1 千円	195 万 5 千円	33 万 6 千円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症に関する情報を速やかに発信します。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報よこはま都筑区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

2 広報よこはま都筑区版アンケート調査の実施

効果的な広報を行うため、広報よこはま都筑区版に関するアンケートを実施しました。また、アンケート応募者に対して抽選で、「都筑野菜」を提供する店舗で使用できる食事券等をプレゼントすることにより、区民へ「都筑野菜」を周知するとともに提供する店舗を応援しました。(8月号)

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供、若年層に向けたツイッター等での情報発信や新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報の広報を区ホームページやツイッターで行います。

4 PRボックスの活用

毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

5 ガイドブック発行事業

2年度に新規発行した「都筑区ハンドブック」の時点更新を行います。

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報よこはま都筑区版6月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・パネル展示：5月20日～26日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク（6・7月、3回）：地域で活動している団体と区長との意見交換会

6 まちづくり総合調整事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	284 万 5 千円	499 万 5 千円	△215 万円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議：6月 実施済み）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会：2月）等を行います。

(2) その他企業との連携

区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。

2 まちの課題解決

横浜市生活交通バス路線（318 系統）における冊子型時刻表の各戸配布（約 7,000 部、7 月実施済み）や利用啓発チラシを回覧する等、利用促進 PR の取組を進めます。また、道路局・交通局と連携し、路線形態（ルート、便数、運行方法等）について検討していきます。

3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

6 年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、整備の進捗等を紹介する、区民文化センターニュース 第7号を発行（7月）しました。

都筑区 区民文化センターニュース 第7号
発行：令和3年7月21日

本区では、区の文化活動拠点となる都筑区民文化センター（仮称）の整備を進めています。今回のニュースでは、開館予定時期の変更と本事業の進捗状況についてお知らせします。

1 開館予定時期の変更について

(1) 開館予定時期
令和5年度の開館を目指して事業を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業者による設計施工体制の決定と本格的な設計の着手が遅れたため、開館予定時期を令和6年度として、引き続き事業を推進します。

(2) 整備スケジュール
令和4年1月に施工が開始され、令和6年9月までに区民文化センターが本市に引き渡される予定です。その後、本市での開館準備期間を経て、令和6年度の開館を目指します。
※当初案では、令和2年9月に用地での施工を開始し令和5年度の開館を目指していました。
※整備スケジュールの変更に伴う、区民文化センターの施設内容や設計施工体制の変更はありません。

	令和3年(2021)	令和4年(2022)	令和5年(2023)	令和6年(2024)	令和7年(2025)
事業計画・設計期間	実施	実施	実施	実施	実施
施工期間					実施
開館					実施

参考1: 事業概要
都筑区中川中央一丁目9番に所有していた市有地(約1.2ha)を事業提案型公募にて民間事業者に売却し、民間事業者が区民文化センターを含めた施設を整備し、完成した区民文化センターを横浜市が取得する土地活用事業です。

参考2: 完成イメージ

※こちらのイメージ写真は、機運点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

2 事業の進捗状況について

※本資料に掲載している情報は、今後の設計などで実際の建物と異なる場合があります。

(1) 施設配置のコンセプト
区民文化センターの隣となるメインエントランスを軸とした西側に、サブエントランスをイベント会場ともなる全天候型広場に配置するほか、あなきたウオーク側からのアクセスにも配慮し、設計を進めています。また、令和6年度の開館に向けて、区民文化センター周辺の活性化や賑わい創出など、魅力あるまちづくりの検討を進めています。

施設配置とアクセス

(2) 区民文化センターの施設構成
2階のホールは、横浜市都筑区における区民文化センター基本構想策定において示された「多目的な演目に活用できる舞台」を実現するため、ゆとりある演出を確保し舞台設計を進めています。また、その他の階についても、基本構想に則り、設計を進めています。

民間施設部分を含む、事業全体計画につきましては、ボッシュ株式会社ホームページをご覧ください。
「都筑区民文化センター（仮称）およびボッシュグループ研究開発拠点の新設事業」<https://corporate.bosch.co.jp/>

発行：都筑区役所 区政推進課
〒224-0032 横浜都筑区茅ヶ崎中央 22-1
電話 045-948-2227 FAX 045-948-2389 Eメール tz-plan@city.yokohama.jp

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	284 万 4 千円	284 万 4 千円	0 千円

2 年度に整備を行ったオンライン対応機器を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、市民活動・生涯学習支援のための活動のきっかけづくりや活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設における連携・交流が更に進むよう取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的とした講座を開催します。(6月～3月、全3テーマ、各5回程度、区役所会議室等、オンライン併用)

(2) ボランティアベース都筑

ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催します。(5月～1月、全5回、区民活動センター、オンライン併用)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目指し、女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催します。(講座：10月～11月、全7回程度、区役所会議室等)
(イベント：3月、区民ホール等、オンライン併用)

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行するとともに、市民ライターを養成する講座を開催します。(発行：7月、10月、1月、3月)(講座：6月～11月、全7回、区役所会議室等、オンライン併用)

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を開催します。(8月、12月、区民活動センター等、オンライン併用)

2 ささえる（活動支援）

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付します。(交付数 5団体)

(2) 縁ジンミーティング

市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催します。(7月、10月、区役所会議室等)

(3) 区民活動センター利用促進事業

センターの利便性向上を図り新規利用者を獲得するための事業を実施します。(通年：講座や相談のオンライン対応等)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図ります。(3月、区役所会議室等)

3 つながる(連携、交流)

(1) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めました。(6月、区役所会議室等)

(2) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。(3月、区民ホール等)

8 地域 de 育む青少年事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	104 万 1 千円	85 万円	19 万 1 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。(6月・2月)

・6月実施分 会場参加：17名、ウェブ会議システム参加：52名

2 はあと de ボランティア (一部中止)

※緊急事態宣言発出に伴い、7月30日以降の活動については全て中止となりました。

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を 実施しました。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを 目指しました。(申込者数 210 人、体験先 28 プログラム)

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施しました。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを 提供しました。(申込者数 101 人、体験先 17 プログラム)

《(1) (2) 共通のスケジュール (当初予定)》

- ・オリエンテーション：7月22日、25日～26日、全6回、区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、つづきMYプラザ
- ・ボランティア体験：7月27日～8月13日、区内各所(屋外中心)
- ・振り返り・修了証授与：8月14日、15日 つづきMYプラザ

3 つづきウォーク&フェスタ

(1) つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。

実施日：11月23日

(2) つづき “バーチャル” ウォーク&フェスタ

つづきウォーク&フェスタの開催に合わせて、青少年の文化活動映像の放映や緑道マップ・イラストの展示を実施します。

実施日：11月中旬～下旬、区民ホール

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		962 万円	922 万 9 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センター P o p o l a（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施します。

両会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるよう拡充します。

- ・ポポラ：毎月第4土曜日、4回実施、参加者数延べ47組（7月末時点）
- ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、4回実施、参加者数延べ44組（7月末時点）

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室を区内14会場で各10回開催し、仲間づくりや育児相談をします。

- ・56回開催、参加者数延べ649人（7月末時点）

3 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」を区内の公園で開催します。

- ・外遊び連絡会：1月
- ・外遊び体験会：10月頃

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修(子育てネットワーク会議)及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

- ・子育てネットワーク会議：第1回5月28日実施、19人 第2回2月
- ・子育てネットワーク交流会：11月頃

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者対を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

- ・ 2歳児講座：第1回7月2日、26人 第2回12月

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。(第1・3火曜日：池辺町連合自治会館、第2・4火曜日：川和町内会館)

- ・ 参加児童数延べ18人（7月末時点）

8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・ 「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」

講演会動画配信：9月10日～12月27日

ウェブ会議システムによる情報交換会：9月26日

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の全市立小学校（22校）で実施します。（9月～2月）

10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校（8校）の生徒を対象にウェブ会議システムを活用して実施しました。（7月26日）

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	323 万円	343 万 5 千円	△20 万 5 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

・265 回実施、利用者数延べ 2,461 人、協力者数延べ 265 人（7 月末時点）

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放します。

・8 回実施、利用者数延べ 304 人、地域の協力者数延べ 25 人（7 月末時点）

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

・15 回実施、利用者数延べ 63 人（7 月末時点）（緊急事態宣言発出期間中は休止）

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

- ・Aエリア（仲町台周辺）：10 月 27 日 せせらぎ公園
- ・Bエリア（中川・北山田周辺）：11 月 12 日 滝ヶ谷公園
- ・Cエリア（茅ヶ崎周辺）：11 月 2 日 都筑中央公園 ステージ広場
- ・Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10 月 29 日 都田小学校コミュニティハウス
11 月 10 日 みどり保育園園庭

5 積木交流

市立保育所にある合計 2 万個の積木を使い、地域の親子が参加できる育児講座を開催するなど、「つみきのつづき」を広めていきます。（10 月～11 月）

11 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	284 万 1 千円	267 万 9 千円	16 万 2 千円

区民の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき庁内連携を進めるとともに、保健活動推進員、食生活等改善推進員、民間企業との協働により生活習慣病及びがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

また、区民の運動習慣の定着を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象とした講座を開催します。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月1日～7日、区民ホール
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回
- ・がん検診啓発巡回パネル展：9月～10月 地域ケアプラザ5か所
- ・保健活動推進員等健康づくりリーダーを対象としたつづけるウォーキング講座：10月

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代にとって大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：
区内10か所、延べ20回（10回実施・72人（7月末時点））
- ・はじめての離乳食：8回、区役所 （3回実施・27人（7月末時点））
- ・保育園、幼稚園、小・中学校の食育担当を対象とした食育情報交換会：
年2回（9月、12月）

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や合同の研修会を行うことにより、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識を醸成します。

- ・保健活動推進員全体研修：5月31日
（84人 テーマ「コロナに負けない健康づくり～自分と地域の健康を考える～」）
- ・保健活動推進員・元気づくりステーションリーダー等地域の健康づくり団体を対象としたオーラルフレイル予防普及啓発研修：9月4日 （ウェブ会議システム配信予定）

4 都筑区健康アクション事業

区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣がない方でも気軽に実践できる内容で、健康へ関心を持ってもらうきっかけを作ります。

また、引き続き「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知します。

- ・健康体操動画公開：9月
- ・健康体操イベント：(11月・2回実施)
- ・都筑区健康アクションデーでの健康に関する啓発（毎月第4木曜日）

5 1歳児の歯みがき教室

乳幼児歯科相談のニーズも高く、歯の萌出時期であり歯みがきに対する不安が大きい時期である1歳児とその養育者に対して、楽しい雰囲気の中で歯みがきの方法やう蝕予防に対する知識や技術を習得するための教室を開催します。（6月～2月、年7回実施）(6月実施・12組)

6 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成29年度から保険年金課待合スペースなどにおいて取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫を引き続き実施します。（健康づくり文庫は、新型コロナウイルス感染症対策のため、現在休止しています。）

12 地域で支える高齢者支援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	81 万 3 千円	82 万 8 千円	△1 万 5 千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム（年1回、9月12日）

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。

3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を緊急事態宣言下の厳しい基準(定員の50%以下)に合わせ、地域ケアプラザとオンラインで中継して分散形式で実施予定です。

(2) 認知症サポート連絡会（月1回）

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインを併用したうえで、毎月開催しています。

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。

3年度は、認知症フォーラムと合同開催（9月12日）です。

3 福祉保健情報提供事業

(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営

チラシ・パンフレットの配布や閲覧により、福祉保健に関する情報提供を行います。

(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」を窓口等で配布します。

・主な配布場所：区役所窓口、区民活動センター、区社会福祉協議会、
地域ケアプラザ、地区センター

13 障害者交流啓発事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	115万2千円	115万2千円	0千円

障害者と地域住民との共生社会を目指し、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

- (1) 障害児・者による芋の収穫体験 (10月17日)
- (2) ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ (12月4日)

2 障害者地域啓発事業

- (1) 区民まつり福祉バザー (11月3日)

地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会とします。

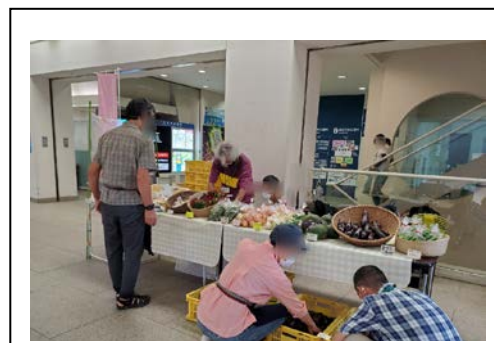
- (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 (9月～2月)

障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

3 障害者施設支援事業 (通年)

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について区民への周知を支援します。

《区民ホール 販売の様子》



施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		582 万円	597 万円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 中小製造業支援

(1) 技術展示会出展支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置を行います。

また、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

- ・テクニカルショウヨコハマ 2022

会場展示：2月2日～4日、パシフィコ横浜

オンライン展示：2月上旬

(2) 中小企業向け支援講座

メイドインつづきに参加する企業を対象に、中小企業の課題である人材育成に関する講座を開催します。

(3) 事業PRイベント

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力発信を行いました。

- ・こうじょうのキラキラ 2021：7月27日～8月2日、区民ホール

ご家庭でものづくりを体験できるよう、工場から出た廃材を配布しました。(メイドインつづき企業を紹介するパネル展も同時開催)

また、「動画で工場見学！」として、区内小学校の先生をナビゲーターに迎え、工場内部の様子を紹介する動画を作成し、区ホームページで公開しました。

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね 月4回）、区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、飲食店を巡るスタンプラリー等、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を動画形式で開催します (実施済：6月、予定：9月、12月、3月)。

15 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		641 万 9 千円	548 万円
<p>区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。</p> <p>また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。</p> <p>1 都筑区民まつり</p> <p>区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第 27 回都筑区民まつり」を実施します。(11 月 3 日)</p> <p>2 商店街魅力発信事業</p> <p>都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝えるため、新たにリーフレットを作製する等の取組を行います。</p> <p>また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>テイクアウト大作戦を紹介する パネル展示</u>：7 月 15 日～23 日 ・ 広報よこはま都筑区版での紹介：4 月、8 月、1 月～3 月 <p>3 都筑・ドイツ交流イベント事業</p> <p><u>「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2021」を都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともにオンラインで開催します。(11 月 25 日～12 月 27 日)</u></p>			

16 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	60 万円	91 万円	△31 万円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、大会の盛り上げと区民のスポーツへの関心向上を図るとともに、大会を通じて得られる感動や学びを未来に継承 できるよ
う取組を行いました。

特に都筑区は、横浜国際プールが英国水泳代表チームの事前キャンプ地であることや、つな
がりの深いボツワナ共和国が横浜市のホテル登録国であることから、「ホストタウ
ン」としての取組を通じて、スポーツの振興や国際理解などに 取り組みました。

1 英国水泳代表チームを歓迎する取組

東京 2020 大会に向けて横浜国際プールで英国水泳代表チームが事前キャンプを行った
ことから、英国水泳代表チームを歓迎する取組を実施しました。

- ・ 区内小学校の児童による応援メッセージを記入した旗の掲出（7月5日～20日）

参加児童：東山田小学校 5、6年生

北山田小学校 1～6年生

牛久保小学校 5、6年生

場 所：横浜国際プール

※応援メッセージ入りの旗は7月20日の選手村入村時に持ち込んでいただきました。

- ・ 英国水泳代表チームとのオンライン交流の実施（7月19日）

参加児童：北山田小学校 5年生

牛久保小学校 5、6年生

- ・ 英国水泳代表チームを選手村へ歓送する取組の実施（7月20日）

参加児童：東山田小学校 5、6年生

- ・ 英国水泳代表チーム等を紹介するパネル展の実施（7月20日～26日、区民ホール）



《設置した応援旗》



《オンライン交流の様子》

2 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組

これまでの都筑区とボツワナ共和国とのつながりや交流を踏まえ、ボツワナ共和国の理解の促進や応援する取組を 実施しました。

・茅ヶ崎小学校4年生が作成した応援パネルボードの展示（7月7日～8月22日）

場所：ホテル横浜キャメロットジャパン・市庁舎アトリウム

・茅ヶ崎小学校4年生による応援動画の作成（7月9日撮影、18日視聴）

・茅ヶ崎小学校4年生とボツワナ共和国オリンピック代表チーム、在日ボツワナ大使館の三者によるオンライン交流の実施（7月14日）

・ボツワナ共和国に関する理解の促進や応援するパネル展の実施

（7月20日～26日、区民ホール）



《設置した応援パネルボード》



《オンライン交流の様子》

17 文化活動支援・スポーツ振興事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	262 万 9 千円	206 万 9 千円	56 万円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- ・キャッチフレーズ 「共に描こう 希望溢れる夢の都筑」
- ・第 26 回都筑区民文化祭：1 月 22 日～2 月 6 日

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。(3 月)

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。(1 月)

5 地域の読書活動推進事業

第 2 期「都筑区読書活動推進目標」(令和元年度改定)に基づき、みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館やつづきブックフェスタ等の事業および 読書活動推進に関する懇談会 を実施し、区内の読書活動を推進します。

- (1) 読書活動推進に関する懇談会：6 月 30 日、3 月 (オンライン併用)
- (2) ブックフェスタ：11 月 (講演会はオンライン併用)
- (3) 郷土史講演会：2 月
- (4) おでかけ図書館：年 12 回程度、区内各所
- (5) 本の修理ボランティア養成講座：1 月

6 パラスポーツ関連イベントの開催

パラスポーツの普及啓発につながる講演会や体験イベントを開催します。(12 月 4 日)

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		203 万円	140 万円

区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。
また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託します。

(1) 国際交流・外国人支援事業（国際理解教室、第8回都筑・ボツワナ交流児童画展など）

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。

また、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

・国際理解教室（ボツワナ臨時代理大使ビデオメッセージ等）：6月30日、茅ヶ崎小学校

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

また、現在対応していない言語について、体制を強化します。

・外国人のための日本語教室（オンライン併用、週2回程度）

・多文化共生セミナーの実施（オンライン併用、8月20日）

・日本語ボランティアの合同研修会の実施（オンライン併用、6月20日、6月24日、9月16日、9月17日）

2 外国人支援事業

区内在住外国人に向けた防災対策の支援をします。

・「防災ノート（ドイツ語版）」の作成（8月～9月）

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りを支援するとともに、チームの協力も得ながら事業を展開することにより、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施

区内の中学校と連携して、横浜ビー・コルセアーズの選手が参加するバスケットボール教室を開催するとともに、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施し、地元ファン層の拡大を図ります。

- ・バスケットボール教室の開催：新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・開幕カウントダウンボードの設置：8月3日～10月、区民ホール
- ・応援パネル展の実施：9月24日～10月4日、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月

2 都筑区応援 day の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、地域の皆様に試合の観戦機会を提供する都筑区応援dayを実施します。(10月以降1回)

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		445万2千円	462万3千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月19日）
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月26日 参加者数14人
第2回 7月3日（大雨警報発令により中止）

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、2年度に引き続き、3年度は9台の更新を進めます。

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて、自治会町内会等を対象とした出前講座や研修会を開催するとともに、区民向け防災・減災講演会を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

- ・出前講座：1回（自治会・町内会）6月実施 23名

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿の提供を行います。さらに、地域での活動が推進されるよう連合自治会町内会に対し、補助金の交付を行うほか、地域の方や関係機関と避難行動支援に関する意見交換を行う場を設けるなど、地域の実情に合った要援護者に関する活動等を支援します。

- ・補助金申請地区：10 地区

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールについては新型コロナウイルス感染症にも対応した濃度で作成し、保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図ります。

- ・災害時にも役立つBOOK：令和3年度 (11,000部)

班回覧、転入者ウェルカムキット、地域ケアプラザ等で配布

- ・消毒液の作り方シール：感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）
(9月)

感染症パネル展で配布（10月28日～11月1日）

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。
風水害時開設避難所でのペット保管場所設置のための物品を 用意しました。

- ・地域防災拠点向け啓発

地域防災拠点運営委員会連絡協議会での啓発DVDの配付及びペット同行避難の説明
(5月19日)

- ・飼い主向け啓発

広報よこはま都筑区版9月号特集ページ（犬、猫のしつけ、ペット防災）、
啓発チラシの配架（動物院17か所、ペットショップ3店舗：6月～7月）
ペット防災用品に関する啓発（動物愛護週間イベントで展示予定：9月21日～27日）

- ・風水害時開設避難場所ペット保管場所で使用する物品の購入

ブルーシート及び清掃道具10施設分（6月）

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		1,260万2千円	941万円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営に必要な資器材の維持管理・整備や、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。
 - ・災害対策連絡協議会（5月13日）
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。
- (3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。
 - ・早淵川水防訓練：6月19日 大榎町内会エリア、中川小学校
- (4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。（9月、1月）
 - ・9月の訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面により実施

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくため、防災・生活マップ等を区民の方へ配布し、日頃から災害対策について理解を深めていただけるよう啓発を図ります。

- ・防災・生活マップ：13,000部増刷予定
- ・洪水ハザードマップ：1,500部増刷予定
- ・内水ハザードマップ：1,500部（局からの配付を受け区役所にて配架）

3 風水害対策等の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、間仕切り等の防災用資器材を引き続き整備していくとともに、手指消毒用アルコールやマスクなどの消耗品について、使用状況に応じて補充していきます。
- (2) 防災用スピーカーの整備
 - ・防災用スピーカー1基増設（折本町西耕地公園：6月21日運用開始）
 - ・防災用スピーカーの点検（12拠点）

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一齐に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

・緊急時情報伝達システムの受伝達訓練：6月4日 登録者数：153人（7月末時点）

22 安全・安心なまちづくり事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	978 万 2 千円	978 万 2 千円	0 千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心なくらしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

・交通安全運動：実施 5 回、予定 6 回

・はまっ子交通あんぜん教室：

11 校（5 月 4 校、6 月 4 校、7 月 1 校、9 月 1 校、10 月 1 校）

・スクールゾーン防犯対策協議会の開催：

24 校(区内 22 校+区外 2 校) 中、実施 21 校（うち書面開催 14 校）、予定 3 校

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	93 万 1 千円	91 万円	2 万 1 千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者等を対象に食事を提供する施設や食中毒を起こしやすい食品を提供する施設については、検査機器を用いて調理器具や従事者の手指等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：

9月～3月、小学校・社会福祉施設関連給食施設 70 施設

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、手洗い方法を示したクリアフォルダを活用した実技指導などにより正しい手洗い方法を周知します。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーを用いて、ノロウイルス食中毒や感染症予防についても周知します。

・食中毒予防パネル展

6月3日～6月10日、8月4日～8月10日 区民ホール

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

・猫侵入防止器の貸出：1件（7月末時点）

・ねずみ捕獲器の貸出：2件（7月末時点）

・ハチの巣駆除機器の貸出：4件（7月末時点）

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

検査機器を用いて、理美容所で使用する器具等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生管理指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：

10月～11月、理容所・美容所 40 施設 （協議会加入全店舗）

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

＜動物愛護週間 9月20日～26日：環境省（動物愛護管理法第4条）＞

- ・区民ホールにて、グッズ等啓発用品の展示：9月21日～27日
- ・長寿ペット表彰（大型犬（13歳以上）、中小型犬（15歳以上）、猫（17歳以上））
- ・飼い主セミナーの開催：9月24日
- ・ペット適正飼育講演会（防災について）：12月4日

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	重点 拡充	478 万 9 千円	465 万 9 千円

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に対して都筑区の実情に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供します。高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮した支援をします。

また、「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展を開催しました。

団体数：46 団体（7月末現在）

・パネル展示：8月27日～9月2日開催、区民ホール

・ハマロード・サポーター全体交流会：10月28日、港南公会堂

2 愛護会活動推進事業

愛護会の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施しています。

公園の面積が広く、愛護会活動が活発な都筑区では、東方公園のほ場^{*}で愛護会向けの花苗などを生産し、提供しています。また、ほ場の増設を検討しています。

団体数：155 団体（公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（7月末現在）

※ほ場：草や花を栽培するための場所

・総会：7月3日開催

・パネル展：6月29日～7月6日、区民ホール、展示団体数 15 団体

3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行っています。

また、支援ニーズへの対応や担い手を増やすための施策、自転車の通行ルール・マナーの周知・啓発のより効果的な手法の検討を行うにあたっての助言を外部から得て、啓発展開の手法を検討しています。

・技術講座

第1回：7月13日 東方公園での花壇講座（参加人数：6人）

第2回：9月28日

第3回：3月22日

講師：佐々木知幸氏（造園家、ネイチャーガイド、樹木医）

4 都筑^{りょくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催 しています。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法の普及を支援 しています。

・ナチュラルガーデン講座 実施状況・予定

回	開催日	参加人数	場所	内容
1	5月11日	16人	都筑区内の緑道・公園	現地調査及びほ場・見本園の場所検討
2	6月8日	<u>10人</u>	ふじやとのみち	場所に適した植物の検討
3	10月12日	—	ふじやとのみち	地拵えから植栽までの実習作業
4	11月9日	—	ふじやとのみち	球根植付、看板作り、まとめ

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードや、活動に必要な道具や清掃用品を提供 しています。

事業の案内は、土木事務所のホームページにも掲載 しています。

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		223 万 9 千円	212 万 2 千円

「SDGs の達成につながる取組」、「温暖化対策」及び「3 R 夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDGs 啓発

親子向け体験型ワークショップ、プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3 R 行動の紹介等を通して、地球温暖化や環境問題の観点から SDGs について学ぶ SDGs 環境フェアを開催します。

- ・SDGs 環境フェアパネル展・イベント：2月24日～3月3日
(3 R 夢週間と同時開催)

2 温暖化対策

区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。また、緑のカーテンの育て方マニュアルを作成し(5月)、普及啓発を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3 R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：31 団体（7月末現在）

(2) ヨコハマ3 R 夢推進事業

3 R 行動推進のため、つづき3 R 夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集・配付などを行います。

食品ロス削減に向けて、資源循環局などと連携し取組を進めていきます。

- ・つづき3 R 夢週間パネル展・イベント：7月23日～26日、2月24日～3月3日
（ごみと資源の相談コーナー設置 7月24日：556人）
- ・赤ちゃん会での3 R 夢啓発：9月～3月（14会場）
- ・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）
- ・フードドライブ常設実施に向けた検討及び環境等整備

4 都筑区地球温暖化対策・3 R 夢推進会議

街の美化や3 R 夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3 R 夢に関する情報を共有する会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました。

- ・表彰式（3団体、9個人）：5月28日

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	51 万 5 千円	256 万 5 千円	△205 万円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切にする心を醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 都筑区花いっぱい運動の推進

(1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

区制 25 周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所 25 選」及び市民の森を巡るウォーキングイベントを開催することで、花や緑を大切にする心を醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

- ・つづき みどりと花のまち巡り：計 3 回（5 月、11 月、2 月）

5 月 23 日実施（65 人参加）

《ウォーキングイベントの様子》



月出松公園



池辺市民の森

(2) 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点である HRG の維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン

令和4年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成の考え方について（案）

令和4年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成にあたっては、次の点に留意して編成します。

- ・以下の5本の柱に基づき「**つながり**」「**活力と魅力**」「**安心**」を**実感できるまちの実現**を目指す
- ・第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進し、地域課題の解決を図る
- ・都筑区役所デジタル化推進宣言に基づき、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、区民サービス向上や業務効率化につなげる
- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した取組を推進する

★5本の柱★

ア つながりと協働を育むまち

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを進めていくため、自治会・町内会支援、団体間の連携促進など、地域支援の取組の充実を図ります。

また、第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を地域と共に推進します。

【主な取組分野】協働による地域づくり(自治会・町内会支援、地域福祉保健推進)、広報・広聴

イ いきいきと健やかに暮らせるまち

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯が住みやすいまちとして、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、各世代に応じた健康づくりを進めます。

【主な取組分野】健康づくり、子育て、高齢者支援、障害者支援

ウ 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。また、魅力の発信を行うことで、更なるにぎわいづくりに取り組みます。

【主な取組分野】地域資源活用、魅力発見

エ 安全・安心なまち

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行うとともに、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

また、都筑区特有の地域課題である緑道等における自転車・歩行者の交通安全対策に取り組みます。

【主な取組分野】防災、防犯・交通安全

オ 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

花と緑にあふれるまち、環境にやさしいまちを目指し、SDGsの視点を踏まえた施策を進めていきます。

また、都筑区の地域資源である公園や緑道を次世代に引き継ぐため、維持管理や再整備を進めるとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。

【主な取組分野】温暖化対策、美化推進、緑化推進